

令和4年度事業報告書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

令和5年 5月18日

学校法人 金蘭千里学園

1. 法人の概要

単位：名

項目	高等学校	中学校	備考
設置する学校	金蘭千里高等学校	金蘭千里中学校	
入学定員	180	180	
在校生徒数	553	573	令和4年5月1日現在
教職員数	57	57	令和4年5月1日現在

2. 事業の概要

・金蘭千里中学校、高等学校における事業の基本的な概要

事業計画に基づき、以下の項目・内容を基本・原則として、教育事業を展開した。

なお、事業計画時の概要において実施を予定した項目のうち、新型コロナウイルス感染症の流行により実施内容を変更したもの、実施を見送ったものなどについて、次項に記載した。

男女共学 1学級30人

学習指導

○カリキュラム

併設型中高一貫校としてのカリキュラムによる効果的、効率的学習

英語・数学・国語は、基礎科目として時間増

理科・社会は、広範な科目を履修することによる幅広い進路選択への対応

○20分テスト

通常授業を重視し、月～金曜日に成績評定を決する復習テストを実施し、成績状況を授業や個別指導にフィードバックすることによる学力の向上、定着

○特別授業

学力の補足、練成のための、夏季・冬季・春季長期休業期間における特別授業の実施

生活指導

担任を中心とした個人指導の徹底

スポーツ

○校技

男子はサッカー、女子はバレーボールを校技と定め、6年間を通じた指導により全生徒が共通のスポーツとして習得

○他種目

校技に加え、学年によってテニス、バスケットボール、卓球、ハンドボール、バトミントン、男子バレーボール、女子サッカーを選択履修

国際理解／キャリア教育

○「日常」と「異文化」の相対化と「体験」による「知識」の裏付けによる「弾力的国際人」を育成するためのカリキュラム

○中高6年間の発達段階と生徒の個性と能力に応じた進路指導のため、外部講師による講演や職業体験などを通じた、単なる大学進学指導に止まらない幅広い進路指導

・ネイティブ・スピーカーである教員による英語指導

・外務省や国際機関、外国公館を通じ派遣された専門家による、国際事情の理解を深めるための講演

・民族学博物館の見学による異文化理解

・イギリス海外研修（イートン校）＜希望者のみ＞

・能楽、狂言、茶事、落語といった日本の伝統文化体験

・本校卒業生による進路決定に至る体験の講演

・職業選択に至るプロセスに関する講義や、医療従事者、起業家等の専門家を招いた講演

- 野外活動
 - キャンプ・自然研修
 - 各学年キャンプ又は自然研修旅行の実施による自然体験
 - 徒歩訓練
 - 北摂の自然に触れるオリエンテーリング形式の行事の実施
- 情操教育
 - 音楽鑑賞
 - 国内外の一流のアーティストによる演奏鑑賞の実施
 - 合唱祭
 - 中学生・高校一年生が運営企画するクラス対抗のコンクールの実施
- 情報教育
 - 整備されたICT環境を活用し、eメール、インターネット等の基礎技術の修得や各教科学習の補助に資するにとどまらず、情報化社会に対応する情報処理モラルの涵養
- 自主性の涵養
 - クラブ活動の充実を図ることにより生徒の多様性に対応するとともに、生徒に多面的な負荷をかけることにより「勉強を頑張りクラブ活動も頑張る」スタイルを確立させ、多彩な活動ができる人材を育成
 - 文化祭、体育祭の運営を通じ独創性と自発性の涵養

・新型コロナウイルス感染症流行に関する対応、対策及び、事業の変更等

- 感染症対策及び教育活動継続に向けた学校運営の概要
 - ・ 昨年度に引き続き、生徒の感染防止策として、登校前の検温実施と検温結果の記録及びその確認、マスク着用や手指消毒など基本的な感染症対策の徹底、昼食時の教員による見回りなどを実施した。
 - ・ 教職員の検温及び検温結果の記録の徹底、外来者への検温などを実施した。
 - ・ 行事については、大阪府教育庁私学課のガイドラインを基に、教育効果と感染リスクを慎重に判断し、収容定員の多い会場の使用、外来者の制限などの対策を講じ、実施内容を精査の上でできる限り実施した。感染症対策上、実施困難な一部の行事は中止した。
- 事業計画において予定していたもののうち、中止又は実施内容を変更した行事等
 - ・ キャンプ行事は、施設の受入れ人数制限や、マスク着用下での飯盒炊爨やテント泊が困難であるなどの理由により、宿泊施設泊とする、1学年を1泊2日の2班編成にする等実施内容を精査の上、中学1・2年及び高校1年で実施した。
 - ・ 前年度延期となった今年度高校3年の北海道自然研修(3泊4日)は、行程を2泊3日として6月に実施した。また同様に淡路島研修を4月に実施した。
 - ・ 中学3年は、感染対策を徹底の上、信州自然研修を6月に実施した。
 - ・ 徒歩訓練は、マスク着用下での実施が困難と判断し、中止した。
 - ・ 合唱際は公開行事とせず、保護者対象には行事の様子をユーチューブで動画配信した。

・当年度における主な事業計画

- 現校舎施設設備の整備、更新
 - 現校舎で更新の時期を迎えている老朽化設備の更新を順次行う中で、今年度より校舎外壁の修繕に着手する。また、交換時期を迎えたエレベーター保全のための修繕工事を行う。
- 校舎新館（仮称）建設にむけた諸準備の実施
 - 校舎新館の建設に関し、引き続き総工費の交渉、検討及び資金準備等の諸準備を行う。

・当該計画の進捗状況

□現校舎等施設設備の整備、更新

- ・校舎外壁修繕については、工事内容・費用をを精査の上業者選定を行い、本校校舎施工業者である（株）大林組に発注の上、アスベスト含有調査等の準備作業を実施した。
- ・法定交換周期を迎えた制御リレー器の取り換え工事を施工した。
- ・千里金蘭大学が体育館への空調設置工事を行うのを機に、体育館中高側についても空調設置工事を実施した。

□校舎新館（仮称）建設にむけた諸準備の実施

- ・建設費用の高騰などを受け事業費が当初の想定を上回る状況のため、第2号基本金の積立を行いながら、引き続き検討を進めることとした。

以上